

14番 児玉 美環子 議員

1 母子保健事業について

- (1) 本市における近年の低出生体重児の出生数及びその割合を示されたい。
また、低出生体重児の出生数を体重別に示されたい。
- (2) 低出生体重児とその保護者に対して配慮すべき点及び支援内容を示されたい。
- (3) 小さく生まれた赤ちゃんを持つ家庭への支援として、リトルベビーハンドブックの開発と活用が進んでいる。これについての認識と見解を示されたい。
- (4) 母子健康手帳のサブブックとして、本市独自のリトルベビーハンドブックを作成する考えはないか。
また、本市の母子手帳アプリに反映させる考えはないか。
- (5) 子どもの視力の発達の遅れや眼疾患を早期に発見し、治療に繋げるため、3歳児健康診査における視力検査に、屈折検査を導入する考えはないか。

2 AED使用時の女性への配慮について

- (1) 女性にAEDを使用する際、救助者が女性の衣服を脱がせたり肌を露出させることに対して不安や抵抗があるため、女性へのAED使用率が男性に比べ低いとの調査結果が出ている。AED使用時の女性に配慮した資器材の導入は考えられないか。

3 教育行政について

- (1) 児童・生徒が気軽に相談できるようSNSを活用した相談窓口の設置は検討されているか。
- (2) 「ハイリー・センシティブ・チャイルド(HSC)」と呼ばれる人一倍繊細な特性を持つ子どもは5人に1人いるとされており、その特性が不登校の原因になっている可能性も指摘されている。学校教育におけるHSCへの理解と配慮が急務であると考えますが、どうか。
- (3) 学力向上や教員の負担軽減を図るため、元教育関係者らによる学習補助が効果を挙げている。本市の学習補助員の活用について取組状況を示されたい。